

1. 日本側参加研究者の体制

①採択年度 (和暦) (西暦)	平成29 2017	年度	②採択期間 (通常A型は5年以内 B型は3年以内)	5	年間 (1年未満は 切上げ)	③事業の型 (AまたはBを記入)	A	型
④日本側拠点機関名 (和文)	東北大学大学院農学研究科							
⑤研究交流課題名 (和文)	食の安全性の飛躍的向上を目指した農免疫国際研究拠点形成							
⑥課題番号	JPJSCCA20170006							
⑦コーディネーター所属部局名・ 職名・氏名 (和文)	農学研究科・教授・高橋英樹							
⑧日本側協力機関名 (和文) (適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)								
東北大学大学院医学研究科								
東北大学大学院歯学研究科								
東北大学大学院薬学研究科								
東京大学								
神戸大学								

⑨参加研究者数内訳 (様式12 参加研究者リスト に準じてください。重複カ ウントしないこと。)	教授級 以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	参加資格の ない者 (⑩に内訳をご記入くださ い。手引き2-4参照。)	合計	第三国所属の研究者 (内数) (⑪に内訳をご記入くださ い。)
拠点機関	21	33	2	28	1	85	0
協力機関・協力研究者	10	3	0	3	0	16	0
合計	31	36	2	31	1	101	0
⑩手引2-4記載の参加資格のない者の内訳 (適宜、行を加除。該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)							
所属・職	専門分野		研究交流での役割				
東北大学大学院農学研究科・名誉教授	動物栄養生化学		平成30年度まで本事業の実施者であり、共同研究の推進アドバイザーとして参加				
⑪「第三国所属の研究者」内訳 (5名迄。適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)							
所属機関所在国・ 所属・職	専門分野	日本側拠点機関へのメリット		日本側参加者として一体的な協力体制を 確保する方法			
該当なし							

2. 経費

事業の型 A 型			
①当該年度の本事業による経費の支出			
経費内訳		金 額 (単位:円)	備 考
研究 交 流 経 費	国内旅費※1	2,275,390	
	外国旅費※1	6,600,326	
	謝金	0	
	備品・消耗品購入費	3,779,602	
	その他経費	394,595	
	不課税取引・非課税取引に係る消費税※2	87	軽減税率分
	計	13,050,000	
業務委託手数料		1,305,000	研究交流経費の10%（1円未満切捨）。消費税額は内額とする。
合計		14,355,000	

※1「国内旅費」「外国旅費」の合計が、研究交流経費支出額の50%を超えていない場合、備考欄にエラーが出ます。

※2 受託機関における課税、非課税（免税）の区分に応じ対象額を算定のこと。受託機関で負担の場合はその旨、備考欄に記載すること。

②研究交流経費（総額）の30%に相当する額を超える各経費費目の増減があった場合の説明事由（該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）。

「その他経費」には、海外出張の際のコロナウイルス感染拡大防止対策（PCR検査・陰性証明書等）の費用の支出を想定した計画を立てていた。その後、感染対策が緩和されたため必要がなくなり、備品・消耗品購入費にあてた。

③ 日本側参加研究者の旅費による	日本側参加研究者のうち、 所属機関が日本である者の旅費の総額（単位：千円）		7,610		
	日本側参加研究者のうち、 所属機関が日本以外である者の旅費の総額（単位：千円）		日本→日本以外の渡航	0	
			日本以外→日本の渡航	0	
			日本以外→日本以外の渡航	0	
④ （相手国側参加研究者の事業経費による総額） （単位：千円）（千円未満切捨て）	日本又は相手国 →日本の渡航	0	（左記のうち、第三国所属の相手国側参加研究者の旅費の総額） （単位：千円）（千円未満切捨て）	日本又は相手国 →日本の渡航	0
	日本又は相手国 →相手国の渡航	0		日本又は相手国 →相手国の渡航	0
	日本又は相手国 →第三国の渡航	0		日本又は相手国 →第三国の渡航	0
	第三国→ 日本の渡航	0		第三国→ 日本の渡航	0
	第三国→ 相手国の渡航	0		第三国→ 相手国の渡航	0
	第三国→ 第三国の渡航	0		第三国→ 第三国の渡航	0

※旅費は、往復の金額で記載すること（例：第三国から日本に渡航の場合、第三国→日本→第三国の往復の渡航費を「第三国→日本の渡航」の欄に記載）。

經由国がある場合は、日本側拠点機関の規定等に基づき、旅費の分類・切り分けを行い、記入すること。

⑤（B型で平成31年度採択課題のみ）中国・韓国・シンガポール・台湾側参加者の外国旅費がある場合 （交流経費の５％以内。該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）		
総額（単位：千円）	手引２－６記載の要件を満たす旨の事由説明	
該当なし		
⑥相手国マッチングファンド（＝相手国側拠点機関が本研究課題に使用した研究交流経費）（単位：千円、千円未満切捨て）		
全相手国のマッチングファンド総額 （１年間の金額）	マッチングファンドのある 相手国拠点機関数	相手国拠点機関のマッチングファンド平均額 （１年間の金額）
14,712	4	3,678

3. 共同研究・セミナー

事業の型 A 型							
①共同研究（適宜、行を加除すること。）			現在の年度に○を付けること→				
共同研究 整理番号	共同研究課題名（和文）	相手国	1年目 実施年度に ○を付ける ↓	2年目 実施年度に○ を付ける↓	3年目 実施年度に ○を付ける ↓	A型のみ	
						4年目 実施年度に○を 付ける↓	5年目 実施年度に○を 付ける↓
R 1	食の安全性の飛躍的向上を目指した農免疫国際拠点形成	アメリカ合衆国、オランダ、中華人民共和国、アルゼンチン	○	○	○	○	○
共同研究の実施状況（当該年度実施の共同研究について、共同研究整理番号毎に、特筆すべき成果、相手国側拠点機関との主体的な取り組み及び今後の研究への波及効果、研究協力体制の構築状況等について記載すること。また、手引5-3変更事例No.2にあたる変更の場合は、変更事由も記載すること。）							
本事業の最終年度にあたるため（新型コロナウイルス感染症により1年延長）、本事業の参加研究者がオランダ・ワーゲニンゲン大学においてシンポジウムを開催し、本事業活動の総括と今後の共同研究の更なる展開に向けて、研究討論を行った。 また、これまで新型コロナウイルス感染症拡大により、本事業参加者の日本から海外拠点校・協力校への渡航や海外からの受け入れが制限されていたが、令和4年度は渡航・受入の制限が緩和され始めたことから、大学院学生がアメリカ・UC-Davis校に8月滞在して共同研究を、オランダ・ワーゲニンゲン大学に2ヶ月滞在して共同研究をそれぞれ行った。さらに、アルゼンチン・国立乳酸菌研究所の教員を1ヶ月と大学院生2名を2ヶ月受け入れ、共同研究の実施と今後の協力体制について打ち合わせがなされた。さらに、中国・揚州大学からは4名の大学院生を約3週間受け入れ、共同研究や大学院生を含めた若手研究者の交流を推進した。加えて、中国・揚州大学とは定期セミナーを実施し、ネットワーク形成と共同研究の強化に務めた。 国内では、東北大学片平キャンパス知の館において、本研究拠点形成事業に参加する東北大学医学、歯学、薬学系研究者が、事業を通して得られた研究成果を確認するための「医歯農学際粘膜免疫セミナー」を開催した。本セミナーには、粘膜免疫学研究の権威である東京大学医科学研究所教授をアドバイザーとしてお招きし、各研究課題に対する助言を頂いた。昨年度に続き、3度目の開催となった今年度のセミナーは、1年間の研究の進展を確認できる充実した内容であった。							

②セミナー（当該年度開催分について、記載。適宜、行を加除すること。）				
セミナー 整理番号	セミナー名（和文）※振興会名及び本事業名を明記すること。シンボルマーク等で代用した場合、その旨コメントにて記載すること。英文も同様。	セミナー名（英文）	開催地（国名・都市名・会場名）	開催期間（○年○月○日～○年○月○日（○日間））
S 1	「日本学術振興会研究拠点形成事業」 動物・海洋生物・作物における農免疫研究と次世代放射放射光の将来展望	Core-to-Core Program "WUR-TU Future Prospects in Agriculture based on Immunity, Food Science, and Synchrotron Light"	オランダ・ワーゲニンゲン大学	令和5年1月16日～令和5年1月18日 (3日間)
セミナーの開催状況（当該年度開催のセミナーについて、セミナー整理番号毎に、参加者数（総数、参加国名ごとの参加人数（本事業経費による負担の有無を問わない）、交流を通じて得られた研究成果の発表・評価・とりまとめの状況、相手国とのネットワーク形成、若手の育成等の効果等について記載すること。また、手引5-3「軽微な変更の事例」の変更事項No.2にあたる変更の場合は、変更事由も記載すること。）				
当該年度開催のセミナーは、アメリカ、オランダ、アルゼンチン、日本の合同開催を予定していた。しかし、コロナ禍による渡航制限のため、日本とオランダの研究者が参加したセミナーを開催することとなった。令和5年1月16日～18日にワーゲニンゲン大学において総括シンポジウムを行い、日本側からは、教員と大学院生16名が参加し、オランダ側からはワーゲニンゲン大学10名、ユトレヒト大学1名が参加した。動物免疫、食品免疫、植物免疫、海洋科学、シンクロトロンなどに関する共同研究成果の発表と、今後の共同研究のより一層の発展に向けた議論がなされた。また、東北大学－ワーゲニンゲン大学、東北大学－ユトレヒト大学の学術交流協定の延長が承認され、今後より一層、東北大学とワーゲニンゲン大学・ユトレヒト大学の交流が活性化されることが期待される。 さらに、当該セミナーの分科会として、アルゼンチン・国立乳酸菌研究所から教授および大学院生を受け入れた際には、東北大学にてセミナー（アルゼンチン5名、東北大学20名）を行い、今後の共同研究の発展に向けた議論がなされた。また、中国・揚州大学ともオンライン形式で討論形式の分科会セミナー（約20名ずつ）を定期的実施しており、若手研究者や大学院生が相互に研究成果の発表を行うことで、若手研究者の育成に寄与した。アメリカ・UC-Davis校とも、随時研究の進捗状況についてオンラインで討論形式の分科会セミナー（約10名ずつ）を行い、ネットワーク形成と共同研究強化が推進された。				
③当該年度に第三国でのセミナー開催があった場合の、本事業の位置づけ、第三国で開催する経済的かつ合理的な理由、そして相手国側拠点との開催経費の分担状況（セミナー整理番号毎に記入すること。該当ない場合は「該当なし」と記入すること。手引2-7参照のこと。）				
該当なし				
④該年度に開催のセミナーで、参加研究者以外の者に本事業経費を使って基調講演を依頼した場合の、日本側拠点機関にとってのメリット（セミナー整理番号毎に記入すること。該当ない場合は「該当なし」と記入すること。手引3-4（1）①参照のこと。）				
該当なし				

4. 研究交流状況

事業の型 A 型 (本シートには、延べ人数で計算した人数を記入すること。)								
①日本→海外の渡航数(本事業経費による渡航)(適宜、行を加除すること。)								
国名(派遣先) 第三国は、国名の後に(第三国)と記載すること。		教授級以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	手引2-4記載の 参加資格のない者・ その他	合計	うち、31日以上 の渡航数(該当の場合のみ) 役職ごとの内訳も()書きで併記のこと。 記入例: 4 (教授級以上1、大学院生3)
1	アメリカ合衆国	0	0	0	2	0	2	1(大学院生1)
2	オランダ	5	6	0	2	0	13	1(大学院生1)
計		5	6	0	4	0	15	
第三国への渡航がある場合は、各渡航について、手引3-4(1)①記載の要件を(B型の相手国の第三国の参加研究者の場合は手引2-6記載の要件も)満たす旨の事由説明 (適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)								
該当なし								

②海外→日本の渡航数(本事業経費による渡航)(適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)								
国名(派遣先) 第三国は、国名の後に(第三国)と記載すること。		教授級以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	手引2-4記載の 参加資格のない者・ その他	合計	うち、31日以上 の渡航数(該当の場合のみ) 役職ごとの内訳も()書きで併記のこと。 記入例: 4 (教授級以上1、大学院生3)
1	中華人民共和国	0	0	0	4	0	4	
2	アルゼンチン	1	0	0	2	0	3	2(大学院生2)
計		1	0	0	6	0	7	
第三国からの渡航がある場合は、各渡航について、手引3-4(1)①記載の要件を(B型の相手国の第三国の参加研究者の場合は手引2-6記載の要件も)満たす旨の事由説明 (適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)								
該当なし								

③日本以外→日本以外の渡航数（本事業経費による渡航）（①、②の合計数の半数以下とすること。適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）									
国名（派遣元）		国名（派遣先）	教授級以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	手引2～4記載の 参加資格のない 者・その他	合計	うち31日以上の渡航数（該当の場合のみ）役職ごとの内訳も（ ）書きで併記のこと。 記入例：4（教授級以上1、大学院生3）
1	該当なし		0	0	0	0	0	0	
計			0	0	0	0	0	0	
各渡航について、手引3～4（1）①記載の要件を（B型の相手国の第三国の参加研究者の場合は手引2～6記載の要件も）満たす旨の事由説明 ※③の合計が①と②の合計の半数よりも大きくなる場合、手引2～7（3）もしくは（4）に該当するセミナー開催に伴う渡航である旨も記載すること。 （適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）									
該当なし									

④海外→日本の渡航数(相手国創経費による渡航)(適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)							
国名(派遣元)		教授級以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	手引2-4記載の参加資格のない者・ その他	合計
1	中華人民共和国	0	0	0	4	0	4
2	アルゼンチン	1	0	0	2	0	3
計		1	0	0	6	0	7

⑤日本→海外の渡航数(相手国経費による渡航)(適宜、行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。)							
国名(派遣先)		教授級以上	助教・ 准教授等	ポスドク等 若手研究者	大学院生	手引2-4記載の参加資格のない者・ その他	合計
	該当なし						

5. 交流相手国

事業の型 A 型	
①相手国名（和文）	アメリカ合衆国
②拠点機関名（和文および英文）	
和文：テキサスA&M大学 英文：Texas A&M University	
③コーディネーター所属部局名・職名・氏名（英文）	College of Agriculture and Life Sciences, University Distinguished Professor, Guoyao WU
④協力機関名（和文および英文）（1機関ごとに行を適宜加減し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）	
和文：カリフォルニア大学デービス校 英文：University of California, Davis	

⑤参加研究者数内訳(重複カウントしないこと)	教授級以上	助教・准教授等	ポスドク等若手研究者	大学院生	その他	合計	第三国所属の研究者（内数）
拠点機関	9	2	0	0	0	11	
協力機関・協力研究者	5	1	0	0	0	6	
合計	14	3	0	0	0	17	
⑥「その他」内訳（該当ない場合は「該当なし」と記入すること。適宜、行を加減すること。）							
所属・職名（専門分野）			研究交流での役割（B型で、本事業費で旅費支給の場合のみ記入すること。）				
該当なし							
⑦「第三国所属の研究者」内訳（B型で本事業費で旅費支給の場合のみ。）（5名迄。適宜行を加減し、該当ない場合は「該当なし」と記入のこと。）							
所属機関所在国・所属・職		専門分野	日本側拠点機関へのメリット			研究交流に不可欠な理由	
該当なし							

⑧相手国のマッチングファンド(=相手国側拠点機関が実際に本研究課題に使用した研究交流経費) (マッチングファンドの種類ごとに一行にまとめ、負担額を記載。適宜、行を加減し、B型で該当ない場合は該当なしと記入すること。)			パターン1または2をプルダウンから選択ください。 (経費負担区分が該当する相手国のみ。)	1	※参考： 日本側研究交流経費	13,050
支援機関等名	ファンド・プログラム名	日本円換算額 (単位：千円)	換算レート日 (例:2021/4/12)	相手国 通貨名	換算レート（外貨1単位に 相当する円貨額）	
United States Department of Agriculture	Agriculture and Food Research Initiative: Roles of fructose and glucose in growth and development of ovine and porcine conceptuses.		2023/3/31	米ドル	1米ドル＝134.5円	
National Institutes of Health	Understanding placental adaptation to maternal malnutrition.(Grant No. 1R01HD080658-01A1)		2023/3/31	米ドル	1米ドル＝134.5円	
United States Department of Agriculture	Roles of fructose and glucose in growth and development of ovine and porcine conceptuses(Grant No. 2018-67015-28093)		2023/3/31	米ドル	1米ドル＝134.5円	
United States Department of Agriculture	Glutaminolysis provides TCA cycle intermediates necessary for proliferation in the conceptus trophectoderm of pigs(Grant No. 2020-67015-31136)	4,035	2023/3/31	米ドル	1米ドル＝134.5円	
合計		4,035				

※日本側で独自に用意した資金（学長裁量経費や本事業以外の資金）を相手国側のマッチングファンドとして扱うことはできません。また、振興会と相手国の学術助成機関等との二国間交流事業等における相手国側資金を相手国のマッチングファンドとすることもできません(EPSRC-JSPS Core-to-Core Collaboration Advanced Materialsのように本事業のために相手国の学術助成機関が用意した相手国側資金は相手国側のマッチングファンドとして扱います)。
※相手国側の学術機関独自の資金（基盤的経費を含む）をマッチングファンドとして扱うことはできます。

5. 交流相手国

事業の型 A 型	
①相手国名 (和文)	オランダ
②拠点機関名 (和文および英文)	
和文：ワーゲニンゲン大学 英文：Wageningen University	
③コーディネーター所属部 局名・職名・氏名 (英文)	Wageningen Institute of Animal Science, Professor, Lohan van LEEUWEN
④協力機関名 (和文および英文) (1機関ごとに行を適宜加減し、該当しない場合は「該当なし」と記入すること。)	
和文：ユトレヒト大学 英文：Utrecht University	

⑤参加研究者数内訳(重複カウントしないこと)	教授級以上	助教・准教授等	ポスドク等若手研究者	大学院生	その他	合計	第三国所属の研究者 (内数)
拠点機関	13	5	3	0	0	21	
協力機関・協力研究者	4	0	0	3	0	7	
合計	17	5	3	3	0	28	
⑥「その他」内訳 (該当しない場合は「該当なし」と記入すること。適宜、行を加減すること。)							
所属・職名 (専門分野)		研究交流での役割 (B型で、本事業費で旅費支給の場合のみ記入すること。)					
該当なし							
⑦「第三国所属の研究者」内訳 (B型で本事業費で旅費支給の場合のみ。)(5名迄。適宜行を加減し、該当しない場合は「該当なし」と記入のこと。)							
所属機関所在国・所属・職		専門分野	日本側拠点機関へのメリット		研究交流に不可欠な理由		
該当なし							

⑧相手国のマッチングファンド(=相手国側拠点機関が実際に本研究課題に使用した研究交流経費) (マッチングファンドの種類ごとに一行にまとめ、負担額を記載。適宜、行を加減し、B型で該当しない場合は該当なしと記入すること。)			パターン1または2をプルダウンから選択ください。 (経費負担区分が該当する相手国のみのみ。)		1	※参考： 日本側研究交流経費 13,050	
支援機関等名	ファンド・プログラム名	日本円換算額 (単位：千円)	換算レート日 (例:2021/4/12)	相手国通貨名	換算レート (外貨1単位に相当する円貨額)		
Wageningen Institute of Animal Science	学内資金, WIAS research fellowships(Grant No. 4169000100)	4,195	2023/3/31	ユーロ	1ユーロ = 147.2円		
Graduate School of Experimental Plant Sciences	学内資金, EPS research fellowships(Grant No. 3189219460)	4,195	2023/3/31	ユーロ	1ユーロ = 147.2円		
合計		8,390					

※日本側で独自に用意した資金 (学長裁量経費や本事業以外の資金) を相手国側のマッチングファンドとして扱うことはできません。また、振興会と相手国の学術助成機関等との二国間交流事業等における相手国側資金を相手国のマッチングファンドとすることもできません(EPSRC-JSPS Core-to-Core Collaboration Advanced Materialsのように本事業のために相手国の学術助成機関が用意した相手国側資金は相手国側のマッチングファンドとして扱います)。

※相手国側の学術機関独自の資金 (基盤的経費を含む) をマッチングファンドとして扱うことはできます。

5. 交流相手国

事業の型 A 型	
①相手国名（和文）	中華人民共和国
②拠点機関名（和文および英文）	
和文：揚州大学 英文：Yangzhou University	
③コーディネーター所属 部署局名・職名・氏名 （英文）	College of Animal Science and Technology, Professor, Guoqi ZHAO
④協力機関名（和文および英文）（1機関ごとに行を適宜加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）	
該当なし	

⑤参加研究者数内訳(重複カウントしないこと)	教授級以上	助教・准教授等	ポスドク等若手研究者	大学院生	その他	合計	第三国所属の研究者（内数）
拠点機関	15	0	0	13	0	28	
協力機関・協力研究者	0	0	0	0	0	0	
合計	15	0	0	13	0	28	
⑥「その他」内訳（該当ない場合は「該当なし」と記入すること。適宜、行を加除すること。）							
所属・職名（専門分野）		研究交流での役割（B型で、本事業費で旅費支給の場合のみ記入すること。）					
該当なし							
⑦「第三国所属の研究者」内訳（B型で本事業費で旅費支給の場合のみ。）（5名迄。適宜行を加除し、該当ない場合は「該当なし」と記入のこと。）							
所属機関所在国・所属・職		専門分野	日本側拠点機関へのメリット		研究交流に不可欠な理由		
該当なし							

⑧相手国のマッチングファンド(=相手国側拠点機関が実際に本研究課題に使用した研究交流経費) (マッチングファンドの種類ごとに一行にまとめ、負担額を記載。適宜、行を加除し、B型で該当ない場合は該当なしと記入すること。)		パターン1または2をプルダウンから選択ください。 (経費負担区分が該当する相手国のみ。)	2	※参考： 日本側研究交流経費 13,050	
支援機関等名	ファンド・プログラム名	日本円換算額 (単位：千円)	換算レート日 (例:2021/4/12)	相手国 通貨名	換算レート（外貨1単位に 相当する円貨額）
National Natural Science Foundation of China	The molecular regulatory mechanisms of PEPT1/NHE3 synergistic transport of small peptides from gastrointestinal bacteria in cattle (Grant No. 31972589)	1,498	2023/3/31	人民元	1人民元 = 19.4円
National Natural Science Foundation of China	The molecular mechanism of CircRNA activation of BMP7 by miR-148a /miR-10a in the development of Hu Sheep lambskin hair follicle (Grant No. 31872333)		2023/3/31	人民元	1人民元 = 19.4円
National Natural Science Foundation of China	Ehylogeography of two Important Elymus species on Qinghai-Tibetan Plateau. (Grant No. 31872995)		2023/3/31	人民元	1人民元 = 19.4円
Natural Science Foundation of Jiangsu Province	Study on the mechanism of propionate decreasing the lipid mobilization in post-perinatal period dairy cattle by the activation of GPR41 signal pathway. (Grant No. SBK2019043455)		2023/3/31	人民元	1人民元 = 19.4円
合計		1,498			

※日本側で独自に用意した資金（学長裁量経費や本事業以外の資金）を相手国側のマッチングファンドとして扱うことはできません。また、振興会と相手国の学術助成機関等との二国間交流事業等における相手国側資金を相手国のマッチングファンドとすることもできません(EPSRC-JSPS Core-to-Core Collaboration Advanced Materialsのように本事業のために相手国の学術助成機関が用意した相手国側資金は相手国側のマッチングファンドとして扱います)。

※相手国側の学術機関独自の資金（基盤的経費を含む）をマッチングファンドとして扱うことはできます。

5. 交流相手国

事業の型 A 型	
①相手国名（和文）	アルゼンチン
②拠点機関名（和文および英文）	
和文：国立乳酸菌研究所 英文：Centro de Referencia para Lactobacilos	
③コーディネーター所 属部署名・職名・氏名 （英文）	Laboratory of Immunobiotechnology, Professor, Susana ALVAREZ
④協力機関名（和文および英文）（1機関ごとに行を適宜加減し、該当ない場合は「該当なし」と記入すること。）	
該当なし	

⑤参加研究者数内訳(重複カウントしないこと)	教授級以上	助教・准教授等	ポスドク等若手研究者	大学院生	その他	合計	第三国所属の研究者（内数）
拠点機関	7	4	0	8	0	19	
協力機関・協力研究者	0	0	0	0	0	0	
合計	7	4	0	8	0	19	
⑥「その他」内訳（該当ない場合は「該当なし」と記入すること。適宜、行を加減すること。）							
所属・職名（専門分野）		研究交流での役割（B型で、本事業費で旅費支給の場合のみ記入すること。）					
該当なし							
⑦「第三国所属の研究者」内訳（B型で本事業費で旅費支給の場合のみ。）（5名迄。適宜行を加減し、該当ない場合は「該当なし」と記入のこと。）							
所属機関所在国・所属・職	専門分野	日本側拠点機関へのメリット		研究交流に不可欠な理由			

⑧相手国のマッチングファンド(=相手国側拠点機関が実際に本研究課題に使用した研究交流経費) (マッチングファンドの種類ごとに一行にまとめ、負担額を記載。適宜、行を加除し、B型で該当ない場合は該当なしと記入すること。)		パターン1または2をプルダウンから選択ください。 (経費負担区分が該当する相手国のみ。)	2	※参考： 日本側研究交流経費	13,050
支援機関等名	ファンド・プログラム名	日本円換算額 (単位：千円)	換算レート日 (例:2021/4/12)	相手国 通貨名	換算レート（外貨1単位に 相当する円貨額）
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Beneficial microbes as modulators of immune responses mediated by innate lymphoid cells and their impact in respiratory chronic inflammatory diseases.		2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Characterization of the transcriptional regulators in lactobacilli and its impact in the production of bioactive compounds.	189	2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Lactic acid bacteria able to inhibit enterohemorrhagic Escherichia coli in meats and processing environments. Molecular bases of microbial interactions.	600	2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Role of lactic acid bacteria as indigenous probiotics for the production of free-antibiotic meat. Their impact on bovine productivity.		2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Paraprobiotics as immune-potential agents for myelopoyesis: study of involved mechanisms.		2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
"Fondo para la Investigación Científica y Tecnológica (FONCyT)" from the Ministry of Science and Technology of the Argentinean Government.	Gastric fitoprobiotics: formulations with lactic acid bacteria and plant derived products for the treatment of gastric inflammation.		2023/3/31	アルゼンチンペソ	1 アルゼンチン = 0.63円
合計		789			

※日本側で独自に用意した資金（学長裁量経費や本事業以外の資金）を相手国側のマッチングファンドとして扱うことはできません。また、振興会と相手国の学術助成機関等との二国間交流事業等における相手国側資金を相手国のマッチングファンドとすることもできません(EPSRC-JSPS Core-to-Core Collaboration Advanced Materialsのように本事業のために相手国の学術助成機関が用意した相手国側資金は相手国側のマッチングファンドとして扱います)。

※相手国側の学術機関独自の資金（基盤的経費を含む）をマッチングファンドとして扱うことはできません。